

帝国書院版平成24年度用中学校社会科教科書

新しい中学校社会科教科書がめざすもの

帝国書院編集部

平成20年3月に新しい中学校学習指導要領が発表されたのを機に、弊社の平成24年度用社会科教科書は本格的な編集作業に入りました。まず第一に、学習指導要領をしっかり研究し、その趣旨をよく踏まえた教科書をつくるが大前提となります。弊社でも新しい学習指導要領の研究に十分な時間をかけ、その成果が今回の平成24年度用教科書に現れていることを確信いたしております。

しかし同時に弊社では、今回の新しい教科書の編集にあたって、学習指導要領に合わせた教科書づくりとは別の観点から、本の骨格をつくりました。その骨格とは、帝国書院としての日本や世界に対する現状認識に立ち、社会科を学ぼうとする中学生にどのような認識や能力を身につけてほしいか、弊社の教科書を使って学ぶ中学生に対して帝国書院という会社は何を伝えたいのか、それを追究する中から形づくられた骨組みのことです。

以下の5項目がそれに該当するものであり、「帝国書院は教科書を通して生徒に何を伝えたいか」という形で表現いたしました。

中学校社会科教科書の共通コンセプト

1. 日本人が過去の歴史を含め、さまざまな困難に立ち向かう中で重ねてきた努力や人々のたくましさを、生き生きと伝えたい。またその中で形成された技術や文化、それを創造

してきた人々の力こそ、日本がもつ最大の資源であることを伝えたい。

2. 世界には多様な文化・伝統・宗教をもつ人々が存在すること、その多様性の中にこそ、人類が生み出したさまざまな知恵の源泉があることを示し、世界の中で生きてゆくための広い視野をもつことの大切さを伝えたい。

3. 1と2を通して学んだ事柄を踏まえ、一人ひとりが、自己と他者から形成されている社会の一員であることを自覚し、知恵を出し合い、問題を解決してゆくことの大切さ、社会に積極的に関与し貢献してゆくことの大切さを伝えたい。

4. 世界の国々が協調してグローバルな視点から課題をとらえ、その解決にあたること、とりわけ持続可能な社会のため地球環境問題や資源エネルギー問題を解決することの重要性を伝えたい。

5. 人間は他者とのつながりの中で生きていることを自覚し、他者への暖かい関心、思いやりと共感する心をもつことの大切さを伝えたい。

帝国書院の平成24年度用社会科教科書である地図帳、地理的分野、歴史的分野、公民的分野の4冊は、いずれもこの5項目をコンセプトとして編集をスタートいたしました。また教科書の編集作業中にも、常にこの5項目

に立ち返り、それが教科書内容にきちんと反映されているかどうか、内容を吟味してまいりました。その結果、それぞれの教科書の各所にこれらの「伝えたいこと」が充分、埋め込まれたものと確信しております。以下、それぞれの教科書において、このコンセプトがどのように生かされているか、ご説明させていただきます。

地図帳がめざしたもの

はじめて世界地誌や日本地誌を学ぶ中学生が、地図帳を通してそれぞれの地域に多様な自然や文化、伝統、人々の暮らしがあることを知り、その多様な世界の中で生きてゆくための広い視野を身につけられることを意図して編集しました。

地理的分野の教科書がめざしたもの

世界や日本の諸地域には、さまざまな自然条件・社会条件のもと、人々が工夫や努力を重ねることで培われてきた営みがあります。このような営みを、そこに生きる人々の姿やその背景から学ぶことで、異文化を理解し尊重する態度を養い、また日本の国土理解を深められるよう配慮いたしました。とくに人々の営みを生き生きと伝えるため、本文だけでなく写真の選定にも十分な配慮を行いました。そしてこれらの結果として、よりよい社会を形成するために自分たちが何をすべきかを生徒自らが考え、判断し、行動できるようになることをめざして編集しました。

歴史的分野の教科書がめざしたもの

人類の歴史は、さまざまな人々がかかわりあい、知恵を絞って生きる中で形成されてきました。この教科書では、古代から現代まで、

時代の画期となった時期に合わせた2ページ大のイラスト特集ページ「タイムトラベル」を9か所設定し、時代の特色をとらえさせるとともに、社会の中で生きる人々の生き生きとした姿が伝わるよう努めました。また日本の歴史をさまざまな立場・視点から考えられるようにするとともに、生徒自らも歴史を重ねる中で形成された社会の一員なのだとということを実感してもらえよう意図し編集しました。

公民的分野の教科書がめざしたもの

この教科書は、生徒自身が「社会の中の一員」であることを意識し、さまざまな人々と「ともに生きてゆく」姿勢を身につけてほしいと願って編集しました。教科書が単に政治や経済のしくみを学ぶためだけのものにならぬよう、社会に生きる人々の姿、人々の重ねてきた工夫や努力を描き出すことに、とくに力を入れました。また、これらを通じて生徒に公共の精神、積極的に社会参画することの重要性を実感を伴って理解してほしいと考えました。その結果として自ら考え、判断し、行動に結びつけることができるようになってほしいと願って編集しました。

このように帝国書院の社会科教科書である地図帳、地理的分野、歴史的分野、公民的分野の4冊はいずれも学習指導要領のめざす方向にぴったり合致すると同時に、帝国書院独自のコンセプトに基づいて編集されています。それはとりもなおさず、21世紀に生きる生徒たちのことを考え、彼らが新しい時代の中で、よりよい社会づくりのために活躍されることを願っているからにはほかなりません。